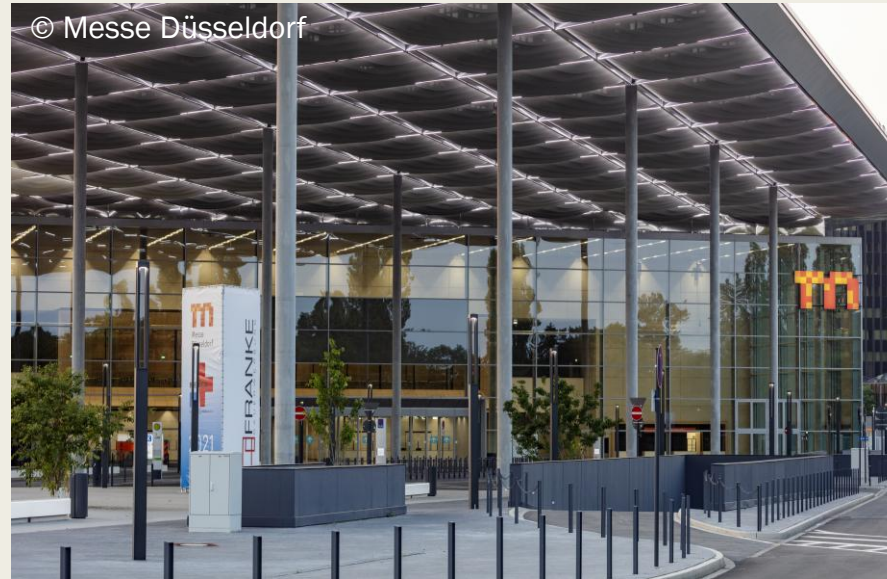




ノルトライン＝ヴェストファーレン州の メッセ概要

2026年10月
在デュッセルドルフ日本国総領事館

経 緯

- ドイツのメッセの歴史は、1240年7月11日に皇帝フリードリヒ二世がフランクフルト貿易見本市の際に、フランクフルト市に貿易見本市都市の特権（欧州各地の諸侯がフランクフルトを訪問する際に通行税免除）を与えたことに始まる。
- ノルトライン=ヴェストファーレン州のメッセの歴史は1360年にケルン市がハンザ同盟都市として、年間2回のメッセ開催に関する特権を得たことに遡る。デュッセルドルフ市では、1811年に市庁舎に隣接する旧政権官房のホールで産業・貿易展示会が開催され、公式訪問中のナポレオンが来場したことがその始まりとされている。またエッセンでも、1913年からRuhr Commercial Showという名称でメッセが開催されていた。
- 近代メッセ会場を使用して行われる形態は、1924年に現在メッセ会場となっているケルン市ドイツ地区にハンス・フェアベーク設計によるメッセ用会場が建設され、当時のケルン市長アデナウアーによって開館されたのを初めとして、1949年にデュッセルドルフ、1978年にドルトムント、1982年にエッセンで現在のメッセ会社による見本市運営が始まった。



現 状

- ノルトライン=ヴェストファーレン州はドイツ最大のメッセ中心地（国内開催の国際的専門見本市の約3割が州内）であり、デュッセルドルフ、ケルン、エッセン、ドルトムントの4見本市が約80万㎡の会場総面積に、国内外から年間55000社の出展企業と300万人以上の来場者を集めている。見本市ビジネスは周辺産業（ホテル・レストラン・小売業・メッセ関連業者）への経済波及効果が大きいため、その拡充は州政府の経済成長戦略の一つであり、またDX化の主導的分野にもなっている。
- メッセ・デュッセルドルフは現在、デュッセルドルフ市（56.60%）やNRW州（20%）や商工会議所等の出資で運営されており、見本市運営会社としては世界トップ10以内の業績を誇る。専門見本市は約50件数を数え、このうち約20が国際的・先導的見本市。**メッセ・デュッセルドルフ**は142カ国をカバーする77の在外代表部を擁す。そのうち「Messe Düsseldorf Japan」を含む7社は、直属の子会社として各国内でも見本市を企画運営し、ドイツや欧州各国からの機械・設備や消費財の輸出促進に大きく寄与している。アジア地域では主要経済圏である中国・インド・日本のASEAN・東南アジアに展開する5つの子会社をリージョナルハブ「Messe Düsseldorf for Asia (MDfA)」が統合して一元的なネットワークを構築している。
- ケルンメッセは2023年に創設100周年を迎え、ケルン市（79%）、NRW州（20%）や商工会議所の出資で運営されている。**ケルンメッセ**の見本市の種類は約70で、毎年あるいは数年の周期で開催されている。**ケルンメッセ**も世界中にネットワークを有し、世界100カ国以上に子会社や在外代表部を設置している。日本法人のケルンメッセ株式会社は、欧州やアジア地域への進出を考えている中小企業、或いは商品ブランドを更に強化しようという企業の見本市への出展参加を斡旋している。

州内の主要メッセ会場

※ 2025年の実績（各社決算報告書を基に作成）

メッセ・デュッセルドルフ

設 立： 1974年
出展社数： 23,695社
来場者数： 1,000,000人
会場面積： 262,727㎡
売 上 高： 370百万€

メッセ・ドルトムント

設 立： 1978年
出展社数： 9,378社
来場者数： 701,000人
会場面積： 60,000㎡
売 上 高： 41,3百万€

ケルンメッセ

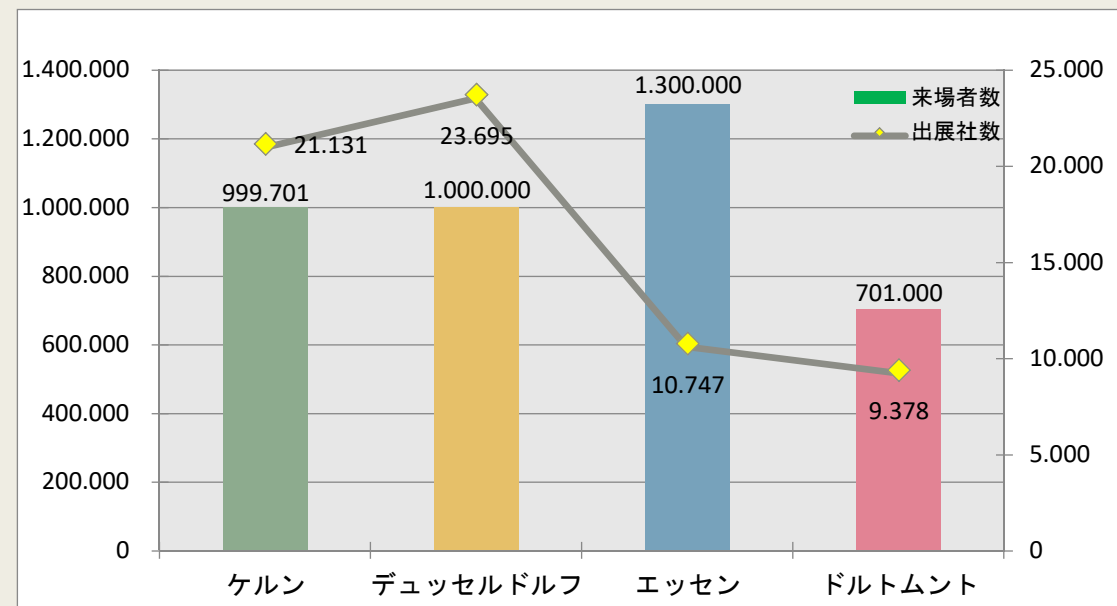
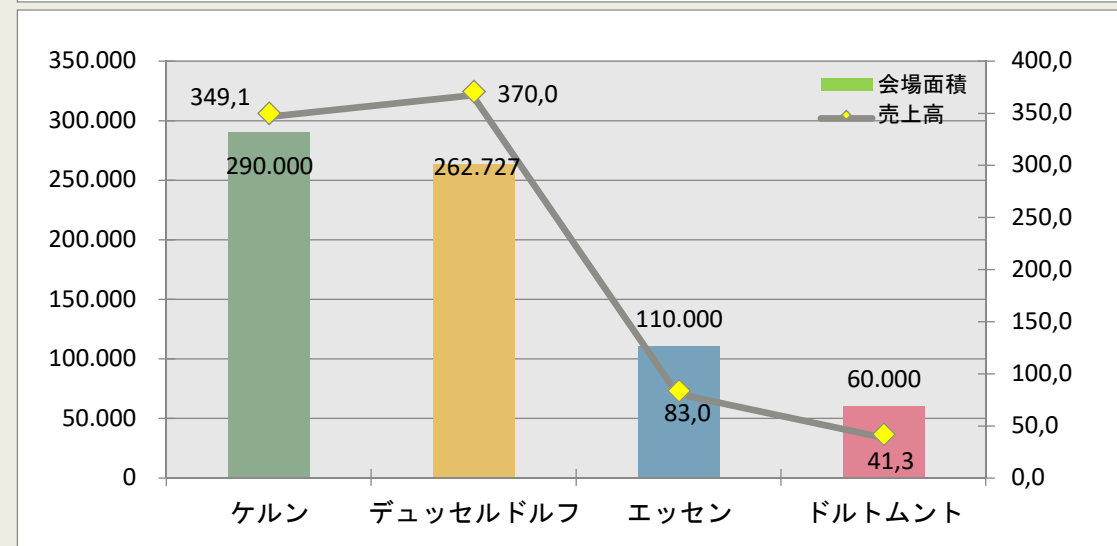
設 立： 1923年
出展社数： 21,131社
来場者数： 999,701人
会場面積： 290,000㎡
売 上 高： 349百万€

メッセ・エッセン

設 立： 1982年
出展社数： 10,747社
来場者数： 1,300,000人
会場面積： 110,000㎡
売 上 高： 83百万€

※この他にパートザルトフレンに見本市会場があるが、NRW州貿易投資振興公社の作成資料においても国際的見本市を開催する州内の見本市会場として上記4会場のみ取り上げていることから、本資料においては当該4会場に関して取り扱う。

各社決算報告書を基に在デュッセルドルフ総領事館で作成

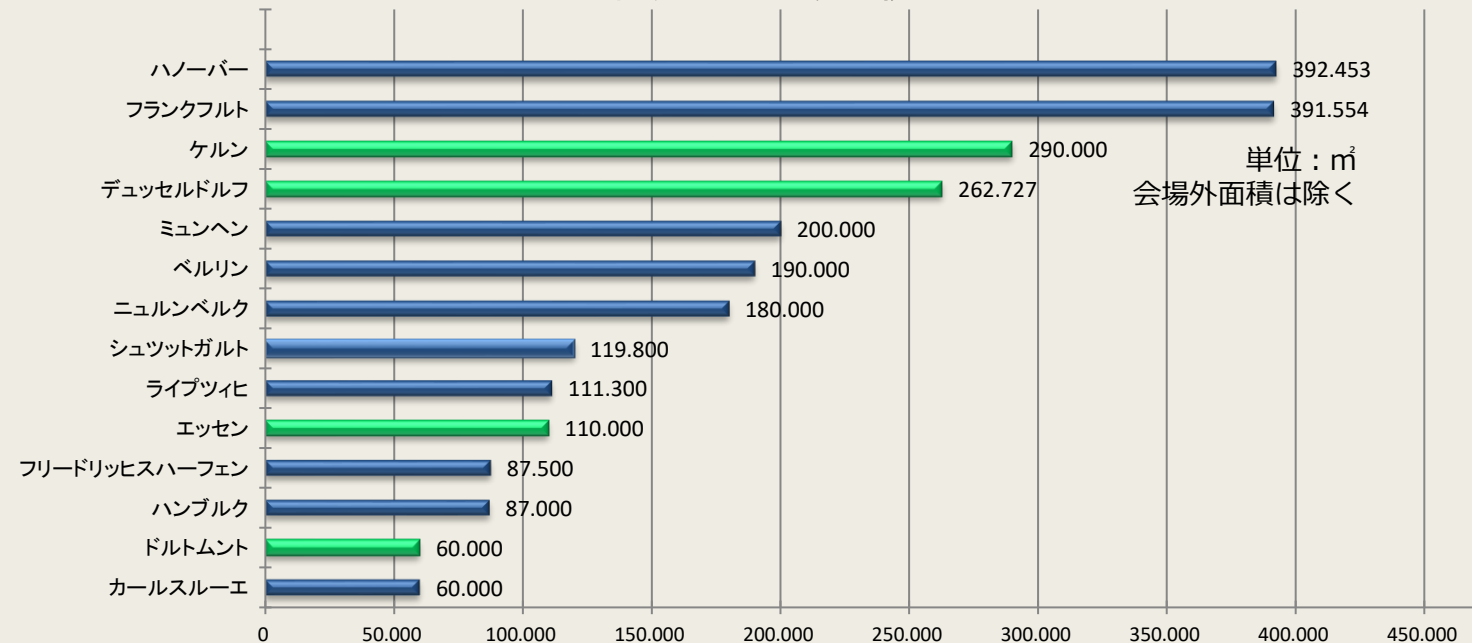


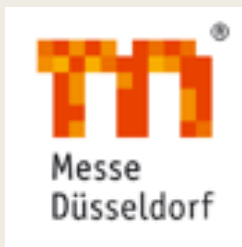
日独経済とメッセ

- 日本とドイツの見本市の違いは、日本では一般向けに商品を見せる場としての展示見本市が一般的である一方、ドイツでは業界関係者・専門家向けの商談の場としての見本市が主流となっていること。
また、日本ではメッセ会社は会場を貸すことが中心であるが、ドイツではメッセ会社自らが国内外で見本市を運営することも大きな違いと言える。メッセのメリットは、重要な商談・契約の場、交流促進・情報入手の場、企業のグローバル化の場となっていることである。また、同業他社、関連資材メーカー、バイヤーとの情報交換の場として活用されている。

- 日独経済関係におけるメッセの重要性としては
① 日本の業界関係者がメッセ視察ツアーに参加して、世界の最新市場動向の把握、世界のトップメーカーとコンタクトの場として活用していること
② メッセへの出展により、ドイツ企業とのコンタクトをきっかけとして駐在員事務所開設に至るケースもあること
③ 日本においても業界関係者向けの専門見本市を開催することにより、商談の場としてのメッセの可能性が高まることが期待されること
等があげられる。

ドイツ14大国際見本市会場面積





デュッセルドルフ 2026/27年 主要メッセ・スケジュール (2026年10月現在)

2026年

10月20日～23日	glasstec	国際ガラス製造・加工機材展
11月16日～19日	MEDICA/COMPAMED	国際医療機器展/医療技術・部品展
12月1日～3日	VALVE WORLD EXPO	国際バルブ技術会議・専門見本市

2027年

1月23日～31日	boot	国際ボート・水上スポーツ展
2月11日～18日	EuroCIS	国際店舗設備・販促機材展
3月7日～9日	ProWein	国際ワイン・スピリッツ飲料展
3月16日～18日	XPONENTIAL Europe	国際自動走行・無人システム展
4月9日～11日	BEAUTY Düsseldorf	国際コスメ・ネイル・フットケア・ウェルネス展
4月10日～11日	TOP HAIR	国際理美容展
4月20日～23日	Urban Steel Expo	国際切削・溶接専門展
6月21日～25日	GIFA	国際鋳造展・技術フォーラム
6月21日～25日	METEC	国際冶金展
6月21日～25日	NEWCAST	国際鋳造部品展
6月21日～25日	THERMPROCESS	国際熱処理技術展
8月27日～9月5日	CARAVAN SALON	国際キャラバン・キャンピング展
9月15日～18日	REHACARE	国際リハビリテーション・福祉・介護機材展
10月19日～22日	A+A	国際労働安全衛生展
11月15日～18日	MEDICA/COMPAMED	国際医療機器展/医療技術・部品展

2027年のメッセ・デュッセルドルフは、世界最大級の印刷技術見本市「drupa」や国際包装機械・資材展「interpack」といった大型見本市がない、所謂ギャップイヤーとなる。

4月に新しく開催されるカッティング・溶接専門見本市「USE (Urban Steel Expo) 2027」や、6月に行われる鋳造・冶金・熱処理の4展複合メッセ「GMTN 2027」（4年に一度の開催）が注目される。

例年開催される見本市「ProWein」、「MEDICA/COMPAMED」には、来年も多くの日系企業の参加が見込まれる。また2025年から始まった、ヨーロッパ版 国際自律走行・無人システム展「XPONENTIAL Europe」は近年の国際情勢に鑑み、展示面積拡大となる。

メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンの日本語公式サイト：

www.messe-dus.co.jp



ケルン 2026/27年 主要メッセ・スケジュール (2026年10月現在)

2026年

10月27日～30日	ORGATEC	国際オフィス家具設備見本市
11月5日～8日	ART COLOGNE	ケルン国際美術見本市

2027年

1月31日～2月3日	ISM	国際菓子見本市
2月19日～21日	INTERMOT	国際オートバイ・スクーター専門見本市
2月23日～26日	ANUGA FoodTec	国際食品技術見本市
3月16日～20日	IDS	国際デンタル見本市
4月2日～4日	h+h cologne	国際ホビー・手芸用品見本市
4月8日～11日	FIBO	国際フィットネス・ウェルネス・ヘルス見本市
5月11日～14日	interzum	国際家具産業・木材加工見本市
6月15日～17日	spoga + gafa	国際ガーデン見本市
8月23日～29日	gamescom	国際ゲーム産業展
10月9日～13日	ANUGA	国際食品見本市

2027年のケルンメッセでは、例年規模が拡大する国際的なコンピュータゲーム産業見本市「gamescom」の他、2年に一度開催される欧州最大級の総合食品見本市「ANUGA」が注目される。

ケルンメッセ株式会社の
日本語公式サイト：www.koelnmesse.jp



エッセン 2026/27年 主要メッセ・スケジュール (2026年10月現在)

2026年

10月22日～25日	SPIEL	国際ゲーム玩具見本市
11月27日～12月6日	Essen Motor Show	エッセン・モーターショー

2027年

1月26日～29日	IPM	国際園芸専門見本市
2月16日～18日	E-World energy & water	エネルギー関連産業国際見本市
2月24日～28日	Reise + Camping	国際トラベル・キャンプ見本市
3月21日～24日	SHK+E	国際衛生・暖房・空調・電気設備見本市
6月12日～15日	METPACK	国際金属包装見本市
9月17日～21日	SCHWEISSEN & SCHNEIDEN	国際溶接・接合・レーザー加工技術展

2027年のメッセ・エッセンでは2月に欧州最大級のエネルギー・水道関連の国際見本市「E-World energy & water」が開催され、日本からも企業・自治体等の参加が予定されている。



ドルトムント 2027年 主要メッセ・スケジュール (2026年10月現在)

2027年

1月16日～17日	INTERLOOK	国際眼科光学機器専門見本市
2月16日～18日	Elektrotechnik	建物・エネルギー・産業技術展
9月14日～16日	INTERTABAC	国際たばこ製品・喫煙具見本市